

うち
お家のキッチンが
ひろびろ
広々ゆったりだから、
ママのご自慢。お気に入りなの！

そういえば、

ろうか
廊下やおトイレも
ひろ
「広くて、使いやすい」って
おばあちゃんも言ってた…

パパとママが、
いっしょりょうり
一緒にお料理してる！
なに
何をつくっているのかな？
なんだかととても楽しそう！

そうだ！

なかま
仲間に入れてもらおう！
み～んなでりょうり
お料理するのが
たの
楽しいんだ。

なにひろ
何か広さに
ひみつ
秘密があるのかな？
おし
教えてムース先生！

スウェディちゃんの
なぜ？
なに？ どうして？
おし
教えて
ムース先生！

Vol.9
ユニバーサル
デザイン編

スウェディちゃんは、
スウェーデンハウスに暮らす女の子。
こうきんおうせい
好奇心旺盛なスウェディちゃんの周りには
なぜ？なに？どうして？が、たくさん。
きょうふしぎ
今日も不思議を見つけたようです。



ユニバーサルデザイン発想の家

赤ちゃん、子ども、大人、お年寄り…。身体能力や特性は年齢や性別によっても違うよね。それに、人は、それぞれが違った個性を持っている。さらに、同じ人でも年を重ねる毎に変化するし、怪我や病気によって一時的に能力や性質、個性に変化が起きることもある。長い年月を過ごす家だから、どんな時でも、暮らしの中で不自由さや不便を感じたくはないよね。

スウェーデンハウスには「暮らす誰もが、平等に快適であるべき」という、福祉先進国のスウェーデンで育まれた、住まいに対する考え方があった。ハイハイの赤ちゃんや、杖や手助けが必要になったお年寄りが、安全・安心に暮らせる家は、誰にとっても快適で暮らしやすい。それが、ユニバーサルデザイン発想の家なんだよ。

ムース先生のおはなし

福祉先進国ならではの住思想を受け継ぐスウェーデンハウスは、年齢を問わず、使いやすい、広さや寸法、誰もが健康的で快適に過ごすことのできる温熱環境を叶え、より多くの個性を受け止める家づくりを目指しています。家族が成長し、変化しても、ずっと我が家で安全・快適に過ごして欲しいのです。

こわくない階段

実は、家の中で転倒事故が多い場所の1つが階段。暗くて、狭い急な階段はこわいよね。スウェーデンハウスの階段には、こわさを感じさせない秘密があるんだよ。その1つが、有効幅92cm以上、高さ(蹴上げ)19.5cm以下、奥行き(踏み面)21cm以上の、ゆったりとした幅と、なだらかな傾斜なんだ。そして、明るい色調のバイン材の効果で、壁に囲まれて暗くなりがちな空間が明るくなって、より広くゆったりと感じられるんだ。それにね、手摺にはグリップ溝をつけて握り易い工夫もしているよ。

スウェディちゃんは、明るい階段に座って、本を読むのが好きだよ。緩やかな段差はみんなに優しいサイズなんだ。

おじいちゃんも、おばあちゃんも、階段を上り下りするのがとっても楽みたい！

温度のバリアフリー

ユニバーサルデザイン発想は、ゆとりのモジュールだけじゃないんだ。家中に温度差がないことも、その1つだよ。エアコンを使っているリビングだけが快適で、他の部屋に移動したら、寒かったり暑かったりするの嫌だよ。特に真冬は、家の中の温度差が危険に繋がってしまうこともある。ヒートショックって聞いたことはあるかな？ 暖かい場所と寒い場所を行き来する、その温度差によって血圧が上下し、身体に大きな負担がかかることで起きるんだ。特に体力が衰えているお年寄りは注意が必要だとされているよ。ヒートショックなどを心配することなく、健康で安全に暮らすためには、長い時間、過ごす部屋だけでなく、浴室や廊下、トイレのような場所まで家中に温度差がないことが、とっても重要。スウェーデンハウスは家中がほぼ一定の温度だから、どこにいても快適で、家族みんなが安心して暮らしていける家なんだ。

おとうさん、おかあさんへ

「ユニバーサルデザイン」に関する情報は、バックナンバー166号のテクノロジーコーナーでもご紹介しています。またスウェーデンハウスのテクノロジーカタログもご用意しています。



家には基準となる寸法があって、それをモジュールというんだ。窓・ドア・廊下やトイレの幅、部屋の広さは、モジュールが基本の単位になるよ。スウェディちゃんのお家のモジュールは、

一般的な日本のお家より大きい。それが、広くて使いやすい“ゆとり”につながっているよ。

へえー

なんだか隠れたところに秘密があって面白そう。

120cmっていうとスウェディちゃんがだいたい横に3人並ぶくらいの幅かな。

私が横に3人かあ…。「分身の術〜！」なんてね〜。



〔スウェーデンハウスのモジュール〕

120cmは車椅子の通行時にも横向きで人がすれ違うことができる幅です。



〔メーターモジュール〕

車椅子の自走時には100cmの幅が必要です。



〔尺モジュール〕

大人は静止時で45cm、通行時には70〜75cmの幅が必要です。

廊下を例に見てみるとモジュールの“差”って大事なことがよく分かるね。だから、パパがたくさん荷物を持っけていても、私とすれ違えるんだね。



スウェディちゃん、いいところに気がついたね！

そう！ゆったりした広さには理由があるよ！

ゆとりのモジュール

モジュールは大きく分けると、尺モジュールとメーターモジュールの2つの種類がある。でもスウェディちゃんのお家は、そのどちらでもない120cmモジュール。91cmの尺モジュールが日本の一般的な住宅の基本だから、その差は約30cmと大きいんだ。例えば、廊下の幅が120cmもあるとね、すれ違う時にも避ける必要がないし、大きな荷物を持っけていても、子どもを抱っこしたり手を引いて歩く時にも、窮屈さやストレスを感じることはないよ。それにね、怪我や病気で杖や車椅子を使うことになっても、大丈夫なゆとりの幅なんだよ。